



佐賀市立鍋島中学校 2020.1

～「鍋まる脱炭素サイクル」の開発～



「鍋まる脱炭素サイクル」の開発！

SDGs の目標にある気候変動の要因と考えられる二酸化炭素の植物の吸収による脱炭素を目的に、関係機関や地域とのパートナーシップを図りながら、地域活動の意識改革、使い捨てカイロのリサイクルから始まる「鍋まる脱炭素サイクル」の開発と、学校ぐるみ、地域ぐるみの活動への拡大と情報発信をめざします！



鍋島中キャラクター「鍋まるくん」



生徒のコメント

この河川への取り組みは、今後の地域の環境のために、昔の生徒会から毎年続けられている活動です。私たち生徒会が誕生してから、昨年、今年と確実に継承できたことを誇りに思います。

今年もみなさんの御協力のおかげで、地域の川がきれいになり、地域の皆様にも喜んでいただけるだろうと思っています。今後も活動していきますので、御協力をよろしくお願いします。今年も、道具をお借りした佐賀市役所河川砂防課の皆様、ありがとうございました。

また、今年度も昨年度同様、使用後の使い捨てカイロを使った自作の水質浄化装置で、川（クリーク）の水の浄化を行います。今年は、パックテストを使って、どのくらい水が浄化できたかを測定する計画でおります。結果が出ましたら、ご報告いたします。

ボランティアで落ち葉拾いをしました。集めた落ち葉は土に混ぜて腐葉土にします。作った土で来年度も美しい花を咲かせてほしいです。（生徒会長竹下さん、生徒会議長中園さん 環境副委員長浅川さん）



図 (上左)河川清掃風景

(上中)河川(クリーク)から除去した土砂

(上右) 落ち葉や刈り取った雑草とクリークの土砂、自作の水質浄化装置で使った使い捨てカイロの中身を混ぜて栽培土づくり

(下左・中)校内での「落ち葉ひろい」

(下右)クリークの土砂を引上採取の風景